

3 国際理解教育の充実

(1) プログラム開発の背景

グローバル化が急速に進展する中、国際社会の一員としての自覚を持ち、自国はもとより、諸外国の歴史や文化、伝統等について理解を深め、尊重し、様々な価値観を持つ人々と共に協調して生きていく態度や、外国語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成することが求められている。

新しい学習指導要領においても、小学校における外国語・外国語活動が拡大しており、一層の外国語教育の充実が図られている。

このことから、道立青少年体験活動支援施設においても、幼児・児童生徒を対象に、日本にいながら、外国人等と触れ合う体験を通して生きた英語に慣れ親しむ機会を提供するなど、外国語によるコミュニケーション能力の育成に向けた取組を推進し、その成果を普及するためのプログラムを開発するものである。

(2) 道及び道教委の主な関連施策

・北海道総合教育大綱 基本方針Ⅰ 新たな生きる力を育む「国際理解教育の充実」

生まれ育った地域に対する誇りと愛着を持つとともに、世界に学び、幅広い視野と異なる文化への寛容を身に付け、将来の北海道に貢献する意欲を持ったグローバル人材を育成します。

英語で日常的なコミュニケーションを行うことができる力を身に付けられるよう、小学校、中学校、高等学校等の各段階を通じて、英語教育の充実を図ります。

海外から帰国した児童生徒や外国人の児童生徒に対し、日本語の習得や学習内容の理解が進むよう、一人ひとりの実態に応じたきめ細かな指導や支援の充実を図ります。

・北海道教育推進計画 施策項目3 「国際理解教育の充実」

国際社会において主体的に行動できる資質・能力を育成するため、海外の子どもたちのほか、来道している留学生や海外の方々と触れ合いながら国際理解を図る機会を充実するとともに、高等学校卒業段階において英語で少なくとも日常的なコミュニケーションができる力を育成する取組を推進します。

(3) 各施設実施プログラムの概要

砂川	ジュニアイングリッシュキャンプ
令和3年2月13日(土)～14日(日) (1泊2日)	親子別プログラム(講話・創作活動)、メッセージカード作り、キャンドルナイト、ワールドカフェなど
深川	ネパール深川 グローバルキャンプ
令和3年2月6日(土) (日帰り)	イングリッシュゲーム、SDGs ワークショップ、異文化交流など
森	ジュニアイングリッシュキャンプ
令和3年1月9日(土)～10日(日) (1泊2日)	イングリッシュゲーム、英語で雪遊び、ピザパーティーなど
北見	ジュニアイングリッシュキャンプ
令和2年9月26日(土)～27日(日) (1泊2日)	親子別プログラム(講話・英語チャレンジ、フリーカフェ)、歌、創作活動など
足寄	ジュニアイングリッシュキャンプ
令和2年11月22日(日)～23日(祝) (1泊2日)	親子別プログラム(英語で道案内・英語で読み聞かせ)、英語ゲームなど

ジュニアイングリッシュキャンプ

1 事業のねらい

英語や異文化に触れる機会の提供とおし、グローバル人材としての素地を養うとともに、保護者のグローバル化への意識向上や子育てについての学習機会とする。

2 事業の概要

- 期日 R3.2.13(土)～14(日) 1泊2日
- 対象 小1～4までの児童とその家族
- 人数 13組 32名
- 場所 ネパール砂川
- 協力 芦別市教育委員会、赤平市教育委員会

3 プログラム

	9:00	11:00	11:30	13:30	14:00	15:30	17:30	18:30	19:30	21:30
2/13 (土)			受付	出会の集い	活動1 親子別プログラム 【子ども】交流活動 【保護者】講演会	活動2 バレンタインカード作り	夕食	活動3 キャンドルナイト	入浴 自由	就寝
2/14 (日)	起床 朝食	活動4 ワールドフェスタ	別れの集い	解散						

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 外国の文化や言語に親しむことができる雰囲気づくり
 - ・体を動かすゲームや英語を使ったカードづくりなど、外国人スタッフとふれあう機会を多く設定することにより、外国の文化や言語を楽しく学べる雰囲気づくりを行った。
 - ・2日目に外国人スタッフによる母国紹介の時間を設定し、外国の文化を学ぶ機会とした。
- 親子別プログラム
 - ・子どもたちが英語を活用したゲームで交流している間に、保護者を対象として、外国人スタッフが講師を務める「家庭でできるグローバル教育について」の講話を行い、グローバル化への意識向上を図った。

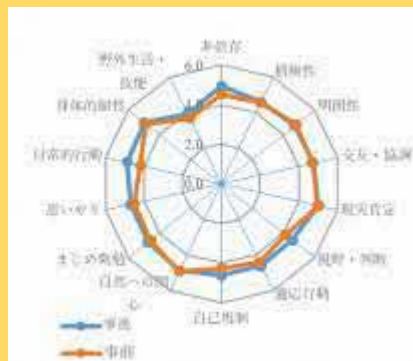


カードをつくりながら異文化交流



保護者がグローバル教育を学ぶ

5 事業の評価



- IKR 調査による変化
 - ・「日常的行動」が0.7P 向上、「非依存」、「視野・判断」が0.4P 向上した。
 - ・「交友・協調」「明朗性」は大きな変化なし
- 参加者の声
 - ・英語へのハードルが下がった気がします。(保護者)
 - ・もっと英語の比率が高くてよかった (保護者)

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 「非依存」が向上したことから、英語をたくさん話すという状況の中でも、物怖じせずにALT等と関わり、異文化への興味・関心を高めることができたと考えられる。
- 英語を使う時間を多くしてほしいとの声があったことから、保護者のグローバル意識を高めるための時間を多くしたり、子どものレベル別に開催したりするなどの工夫が必要である。



企画のポイント

楽しい雰囲気の中で、外国の文化や言語に触れることができるプログラムの設定